

まるお なおふみ

丸尾 直史

尚美学園短期大学 7 期生

音楽学科作曲専攻



略歴・プロフィール

1989 年 3 月 尚美学園短期大学卒業。

ウィーン市立音楽院（Konservatorium der Stadt Wien）にて現代音楽の作曲技法などを学ぶ。

卒業後、日本総合音楽研究、全日本幼児教育連盟などで楽譜教材作成などに携わり、作曲活動の傍ら、2009 年、一般社団法人 国際親善音楽交流協会の設立に参画、以降、音楽を通じた国際交流事業に携わる。

1989 年、山口県下関市市政 100 周年記念国際作曲コンクール最高位受賞、そのほか、県知事表彰、毎日新聞社表彰など、数々の受賞経歴を持つ。

現在、一般社団法人 国際親善音楽交流協会会長、（株）メットインターナショナル代表取締役、日本ベートーヴェン協会理事長、ボディパーカッション教育振興会理事、合唱団「郁の会」音楽アドバイザーを務める。

現在の仕事について

現在は、一般社団法人 国際親善音楽交流協会の会長として、日本の演奏団体の海外公演（主にヨーロッパ、アメリカ）の実施、現地音楽団体や学校との交流、海外アーティストの招聘、日本国内でのコンサートの開催などに携わり、これまでに海外 24 ヶ国での事業を行っています。

世界的に知られる著名な音楽家などと一緒にすることも多々あり、大きなやりがいを感じながら仕事に没頭しています。

尚、海外事業の半数は学校のクラブ活動（高校や大学の合唱部、吹奏楽部、オーケストラなど）の海外公演で、若い時代に海外の文化に触れることでグローバルな視点を持つ事が出来、その後の音楽活動に大きな良い影響が出ていることを実感しています。

また、海外演奏を切っ掛けに留学をされる生徒学生もあり、その後に世界を舞台に活躍、そのような姿を拝し、私共の事業の重要性を強く感じています。

尚美学園で学んで良かった事

当時は音楽学部のほか、音楽情報学科があり、それぞれの分野の第一線で活躍されている教授陣が揃い、また外部講師でも様々な分野の先生方がいらっしゃったことで、学んでいた作曲の分野に偏る事なく多くの知識を得る事が出来ました。

また、必要な設備も整い、音楽を学ぶ上で必要な環境が整えられていたことは「尚美で本当に良かった！」と、今も強く感じている所です。

当時は入学と同時に宿泊を伴ったオリエンテーション（大部屋で雑魚寝だったような気がします…笑）、運動会（競技と言うより、殆ど遊びの感覚…笑笑）などもあり、学生同士、そして先生方との距離も非常に近く、何でも相談が出来て、安心して学生生活を送る事が出来たのも尚美ならではだと思います。

尚美で学んだことが、今の私の人生に繋がっています。

在校生・尚美を目指す高校生へのメッセージ

社会へ出て自立していくためには、様々な経験と知識が必要です。

自分の夢の実現のため、その分野に特化して専門的に学ぶ事もとても重要な事ですが、専門分野で活躍する上でも、それ以外の知識を持っていることが有利に働くのではないかと考えています。

その全てを学ぶ環境が尚美学園にはあります。

そして1人1人の学生に目を向けて、応援して下さる先生方がおり、社会へ出てから非常に役に立っています。

限られた期間の学生生活ですが、整えられた最高の環境を最大限に活かして学んでいって頂きたいと思います！